

稲葉 継陽

Tsuguharu
Inaba



1967年、栃木県生まれ。1996年、立教大学大学院文学研究科博士課程退学、博士（文学）。現在、熊本大学永青文庫研究センター長・教授。専攻は、日本中世史・近世史。フィールドは九州・近畿・関東に及ぶ。著書は、『戦国時代の荘園制と村落』（校倉書房、1998年）、『日本近世社会形成史論』（校倉書房、2009年）、『細川忠利』（吉川弘文館、2018年）、『歴史にいまを読む』（熊本日日新聞社、2020年）など。

歴史 講演会

テーマ

戦国時代の西岡と藤孝・光秀

～熊本に伝わった古文書を中心に～

戦国の乙訓・西岡には、現在につながる集落ごとに国衆（地侍）たちが割拠し、向日宮や勝龍寺城を核にして、ときに「惣国」と呼ばれる自治的組織を創出しました。そこに乗り込んできた細川藤孝は、西岡の国衆、そして地域社会とどう向き合ったのでしょうか。熊本藩主細川家や西岡国衆出身の細川家臣のもとに伝えられた貴重な古文書をもとにお話します。また、西岡時代の藤孝・光秀のコンビの活躍についても紹介します。

令和3年 **11月14日（日）**

開場 12:30

開演 13:00 (15:30 終了予定)

会場／長岡京記念文化会館（長岡京市天神4丁目1-1）

定員／400名（事前申込制）

参加費／無料

◆ 申込方法

官製往復はがきに必要な事項を記入し、下記へ。10月25日（月）必着。

[往信用裏] ①郵便番号 ②住所 ③名前・同伴者（1人まで可） ④電話番号

[返信用表] ①郵便番号 ②住所 ③名前

[返信用裏] 記載不要

宛名：〒617-8501 長岡京市役所内（住所記載不要）

長岡京ガラシャ祭実行委員会事務局

*10月29日（金）頃に当落通知発送

複数枚でのご応募はご遠慮ください。手話通訳・要約筆記、車いす席をご希望の方はご連絡ください。新型コロナウイルスの感染状況により変更や中止となる場合があります。（中止の場合は、往復はがき代金はご返金いたしません）

共催：長岡京ガラシャ祭実行委員会・長岡京市